

令和4年度教育ボランティアスタートセミナー

4月13日に、令和4年度教育ボランティアスタートセミナーが開催されました。このセミナーでは運営委員代表からの話や、グループ協議、そして甲斐市立玉幡小学校の久保田勲教頭先生からの話があり、「教育ボランティアとはどういうものだろうか?」という疑問や不安を解消するためのセミナーとして行われました。本通信では、それらの様子について報告させていただきます。



まず、運営委員代表の話では、新代表の田村海斗さんにより教育ボランティアとは何か?どのようなことをするのか?などの説明が行われました。彼の話参考に、参加者の皆さんには教育ボランティアの概要をつかんでいただけたと思います。次は、グループ協議を行いました。教育ボランティアの参加経験のある学生とこれから参加を考えている学生とで交流を行い、参加時の具体的な話や、参加するにあたっての疑問などについての話し合いが行われました。これから教育ボランティアへの参加を考えている学生たちは、積極的に質問をしてお

り、活発な話し合いが行われていました。

玉幡小学校の久保田先生からは、教育ボランティアをするメリットや、教育実習と教育ボランティアの違いなどについてお話していただきました。教育ボランティアでは、様々な場所を選択できるため、希望校種以外の学校にも行けることや、公立の学校に赴くことで、多様な子供達とふれあえるというメリットがあると教えていただきました。また、教育実習は教職につくために全員が行うプログラムであるが、教育ボランティアは毎日様々なドラマが起こる現場に、どれだけ自分から関わっていけるかが大切になるという点が異なると教えていただきました。教育現場で働く先生の話聞き、より教育ボランティアに参加する意義を感じた人が多かったと思います。



今回のセミナーは、運営委員も含め83名の学生が参加し、とても充実したセミナーとなりました。セミナーをきっかけに、多くの学生が教育ボランティアに参加していただけると幸いです。